

氏 名	池谷 哲郎
学 位 の 種 類	博士 (医 学)
学 位 記 番 号	第 6253 号
授 与 報 告 番 号	甲第 3538 号
学位授与年月日	平成 28 年 3 月 22 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当者
学 位 論 文 名	Maintenance of the Nutritional Prognostic Index Predicts Survival in Patients with Unresectable Metastatic Colorectal Cancer (切除不能進行再発大腸癌における予後予測因子としての栄養指数の有用性)
論文審査委員	主 査 平川 弘聖 教授 副 査 稲葉 雅章 教授 副 査 柴田 利彦 教授

論 文 内 容 の 要 旨

【目的】

免疫と栄養は癌の進行に関与しており、免疫栄養状態を知ることが予後の予測や治療方針の決定のために有用である。これまでも様々な予後マーカーが報告されているが、小野寺式栄養指数 (Onodera's Prognostic Nutritional Index: OPNI) は血清アルブミン値 (g/dl) $\times 10 + 0.005 \times$ 末梢血リンパ球数 (/mm³) で算出され、宿主の免疫栄養状態を反映した指数である。今回、我々は切除不能進行再発大腸癌に対する化学療法施行症例に対し、OPNI の予後予測因子としての有用性について検討を行った。

【対象】

2007 年から 2012 年に当科にて切除不能進行再発大腸癌に対して 1 次治療として FOLFOX、FOLFIRI または XELOX 療法等を行った 80 例。内訳は 22 例が再発大腸癌で、58 例が切除不能進行大腸癌であった。平均年齢は 63 歳。男性 44 名、女性 36 名であった。

【方法】

OPNI と生存期間中央値から ROC 曲線を用いて cut-off 値を 44.5 に設定した。中央値 (範囲) は 46.3 (31.2–62.4) であった。OPNI 高値群 (n=50) および低値群 (n=30) に分類し、OPNI と予後との関連について検討を行った。

【結果】

化学療法施行前の OPNI 高値群は低値群と比較し有意に予後良好であった ($p < 0.01$)。さらに化学療法施行前と施行後 (8 週間) の OPNI の変化について検討したところ、治療前だけでなく治療後も OPNI 高値を維持しえた群は他の群と比較して有意に予後良好であった ($p = 0.01$)。

【結論】

宿主の免疫栄養状態は腫瘍の進行および治療効果に影響を与える。宿主の免疫栄養状態を反映した OPNI は切除不能進行再発大腸癌に対する化学療法施行症例において有用な予後予測因子である可能性が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

免疫と栄養は癌の進行に関与しており、免疫栄養状態を知ることが予後の予測や治療方針の決定に有用であることが示唆されている。これまで様々な予後マーカーが報告されているが、小野寺式栄養指数 (Onodera's Prognostic Nutritional Index: OPNI) は血清アルブミン値と末梢血リンパ球数より算出され、宿主の免疫栄養状態を反映した指数である。本研究は切除不能進行再発大腸癌に対する化学療法において、OPNI の予後予測因子としての有用性について検討をしている。

対象は 2007 年から 2012 年に切除不能進行再発大腸癌に対して 1 次治療として FOLFOX、FOLFIRI または XELOX 療法等を行った 80 例。内訳は 22 例が再発大腸癌で、58 例が切除不能進行大腸癌であった。平均年齢は 63 歳。男性 44 例、女性 36 例であった。OPNI と生存期間中央値から ROC 曲線を用いて cut-off 値を 44.5 に設定した。OPNI 高値群 (n=50) および低値群 (n=30) に分類し、OPNI と予後との関連について検討を行った。

その結果、化学療法施行前の OPNI 高値群は低値群と比較し有意に予後良好であった($p < 0.01$)。さらに化学療法施行前と施行後(8 週後)の OPNI の変化について検討したところ、治療後も OPNI 高値を維持しえた群は他の群と比較して有意に予後良好であった($p = 0.01$)。以上の結果より、OPNI は切除不能進行再発大腸癌に対する化学療法において有用な予後予測因子であることが示唆された。

本論文は、宿主の免疫栄養状態の評価が大腸癌化学療法の予後予測因子として有用であることを明らかにしたものであり、今後の大腸癌治療の向上に寄与するものと考えられる。よって、本研究は博士(医学)の学位を授与されるに値するものと判定された。